Windows 版 Buddycom
ユーザーガイド
v2.8.0.0



Produced by SCIENCE ARTS

バージョン履歴

公開日	バージョン	変更箇所 (章番号)	変更内容
2025/4/24	2.0.0.0	―	初版
2025/6/2	2.0.0.0-1	2.1	Microsoft Edge でダウンロードする場合の注意事項
2025/10/14	2.0.0.0-2	15.1	スマホ版アプリとの機能差を修正
		1.2	ソフトウェア要件の変更
2025/12/17	2.1.0.0	2	ダウンロードリンクの更新
2026/1/13	2.2.0.0	2	ダウンロードリンクの更新
2026/4/23	2.4.0.0	2	ダウンロードリンクの更新
2026/6/25	2.5.0.0	2	ダウンロードリンクの更新
2026/7/30	2.6.0.0	2 5.4	ダウンロードリンクの更新 音声検知によって自動で発話する方法（VOX 機能）
2026/8/27	2.7.0.0	2 6	ダウンロードリンクの更新 複数のタブを分割表示する機能を追加
2026/10/29	2.8.0.0	2	ダウンロードリンクの更新

※日々バージョンアップを行っているため、本ユーザーガイド記載のアプリ画面と実際のアプリ画面が異なる場合があります。

はじめに

Buddycom アプリをご利用いただきありがとうございます。 本書では Windows 版 Buddycom アプリの機能と使い方について説明します。

目次

1. 動作環境 5
1.1 ハードウェア要件 5
1.2 ソフトウェア要件 5
2. インストール方法 6
2.1. Microsoft Edge でダウンロードする場合の注意事項 6
3. ログイン方法 8
4. グループ選択 9
5. グループ通話 10
5.1 通話ボタンの動作設定 10
5.2 画面をクリックして発話する方法 11
5.3 キーボードのボタンにグループを割り当てて発話する方法(キーアサイン) 11
5.3.1. キーアサインしたボタンの確認方法 12
5.3.2. キーアサインしたボタンの解除方法 12
5.3.3. キーアサインしたボタンのトグル操作について 13
5.4 音声検知によって自動で発話する方法（VOX 機能） 14
5.4.1. VOX の動作設定 14
5.4.2. VOX 機能の制限事項 14
6. グループウインドウについて 15
7. メンバーリストについて 19
8. チャットについて 21
8.1 履歴の再生方法 21
8.2 CHAT の送信 22
8.2.1. テキストの送信について 22
8.2.2. 画像・PDF の送信について 22
9. 個別通話 23
10. マップ 24
11. マップ通話 25
12. ライブキャスト 26

13. インターフェイスの説明 28
14. 制限事項 30
15. その他 31
15.1 スマホ版アプリとの機能差分 31
15.2 バージョン確認 32
15.3 スピーカーから音が聞こえない場合 32
15.4 マイクに音が入らない場合 33
15.5 カメラの確認 36
15.6Microsoft Defender SmartScreen が表示された場合 38
16. 付録 39
16.1MIDI コントローラーのボタンをキーアサインする方法 39

1. 動作環境

1.1　ハードウェア要件

1) CPU
Intel プロセッサ/AMD プロセッサ（Core i5 相当以上を推奨）

2) メモリ
8GB 以上を推奨

3) ハードディスク
使用可能領域：30MB

1.2　ソフトウェア要件

・Windows 10 22H2（Build 19045）（64bit のみ）＋ ESU（Extended Sevurity Updates）*1
・Windows 11 24H2（Build 23631）（64bit のみ）以降
(*1) Windows 10 の拡張セキュリティ Updates（ESU）プログラムの適用が必須となります。
ESU については、以下をご確認ください。
https://learn.microsoft.com/ja-jp/windows/whats-new/extended-security-updates

Windows 版 Buddycom の利用に必要なパッケージがインストールされていることをご確認ください。

1) .Net Framework
.Net Framework 4.6.2 のインストールが必要です。
以下のページからダウンロードしてインストールしてください。
https://dotnet.microsoft.com/download/dotnet-framework/net462

2) Microsoft C/C++ランタイム
「Microsoft Visual C++ 2015 再頒布可能パッケージ」以降のバージョンのパッケージが必要です。
以下のページから 64bit の最新のパッケージ（vc_redist.x64.exe）をダウンロードしてインストールしてください。
https://docs.microsoft.com/ja-jp/cpp/windows/latest-supported-vc-redist?view=msvc-160

2. インストール方法

Windows 版 Buddycom を以下の手順でインストールします。

1) Windows 版 Buddycom のダウンロードをしてください。
   https://www.science-arts.com/downloads/work/BuddycomInstaller2-8-0-0.msi
2) 「BuddycomInstaller2-8-0-0.msi」インストーラーパッケージをインストールしてください。
3) ローカルディスク内に追加されたプログラムファイルから、「Buddycom」フォルダ内の「Buddycom.exe」アプリケーションを起動してください。

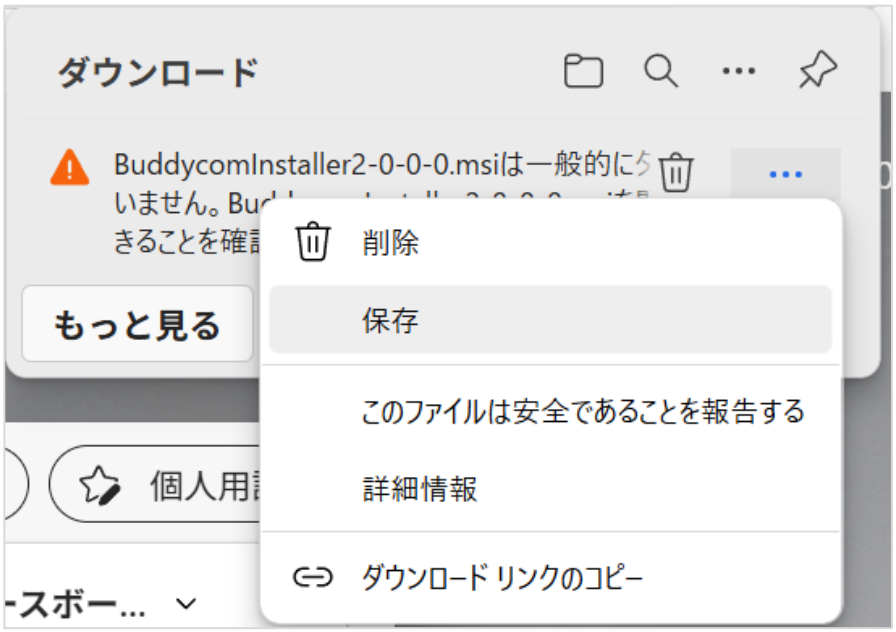
※「buddycomInstaller2-8-0-0.msi」はインストーラーです。これをダブルクリックしても Windows 版 Buddycom は起動しません。
※インストール後、デスクトップにショートカットが自動で生成されます。

1.3 Microsoft Edge でダウンロードする場合の注意事項

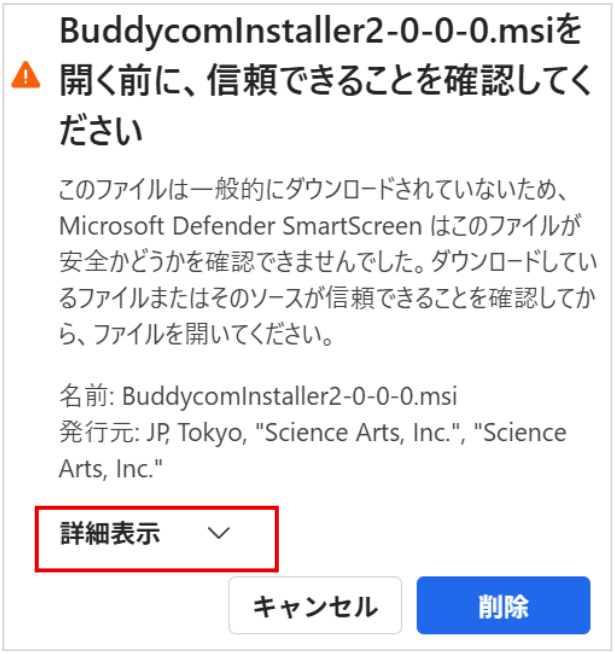
Microsoft Edge で「BuddycomInstaller2-8-0-0.msi」をダウンロードする場合、Microsoft Defender SmartScreen により、下記の画面のようなダウンロードの警告が表示されることがあります。



ダウンロード警告画面が表示された場合は、以下の手順でファイルをダウンロードしてください。
（1）警告メッセージの右側の「…」をクリックし、保存をクリックします。



（2）信頼できることの確認を促すダイアログボックスが表示されるので、「詳細を表示」をクリックします。



（3）「詳細表示」の内容から「保持する」をクリックします。



3. ログイン方法

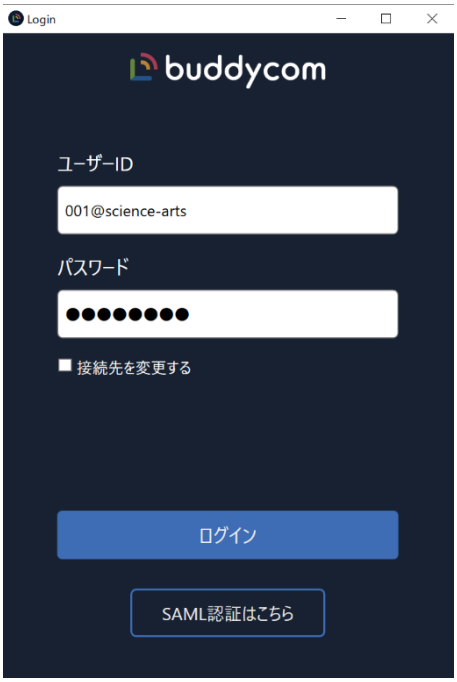
以下の手順でログインします。

1) 「Buddycom.exe」アプリを開きます。



2) ユーザーID とパスワードを入力します。

3) 「ログイン」ボタンを押してログインします。



※ユーザーID とパスワードは Buddycom アプリと同じです。

※1 つのユーザーを Windows 版とスマホ版で同時にログインはできません。

4. グループ選択

以下の手順で、通話するグループを選択します。

画面左のグループタブを開きます。

1) 通話を受信したいグループの TALK スイッチをクリックします。

2) クリックすると、スイッチがオレンジ色になり、通話ボタンが表示されます。



※複数グループの TALK スイッチをオンにした際は、選択したグループの通話が同時に聞こえます。

参加するグループが多い場合は、グループタブ下の検索ボックスでグループ名の一部を入力して、「検索」ボタンをクリックすると、該当するグループだけを表示することができます。

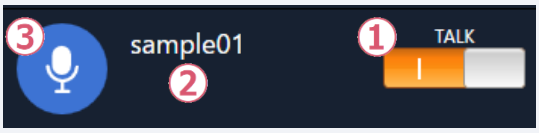


5. グループ通話

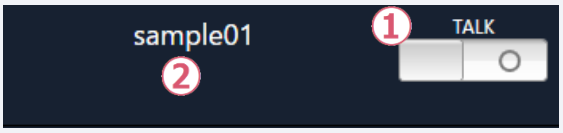
TALK スイッチを有効にすることで対象のグループに発話することができます。
発話には、画面の通話ボタンをクリックする方法と、キーボードのボタンにグループを割り当てて発話を行う方法の 2 種類があります。
※マイク機能があるヘッドセット等の周辺機器を接続してご利用ください。

グループ表示について

TALK スイッチオン



TALK スイッチオフ



① TALK スイッチ：オンにしている間、グループの通話を受信することができます。
② グループ名：TALK スイッチがオンの際に、グループ名をダブルクリックするとグループウインドウが表示されます。(TALK スイッチがオフの際は、グループ名をダブルクリックしてもグループウインドウは表示されません。)
③ 通話ボタン：ボタンを押している間、対象のグループに発話できます。
※管理コンソールにてグループの変更をした際は、再起動後に画面に反映されます。

5.1　通話ボタンの動作設定

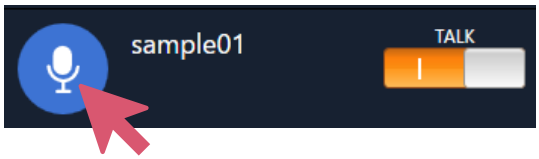
通話ボタンの動作をホールド、トグルの 2 種類から選択することができます。
ホールド：通話ボタンをクリックしホールドしている間発話
トグル：通話ボタンのクリック（短押し）で通話をオン/オフ

設定変更は、設定画面のトークタブから実施することができます。



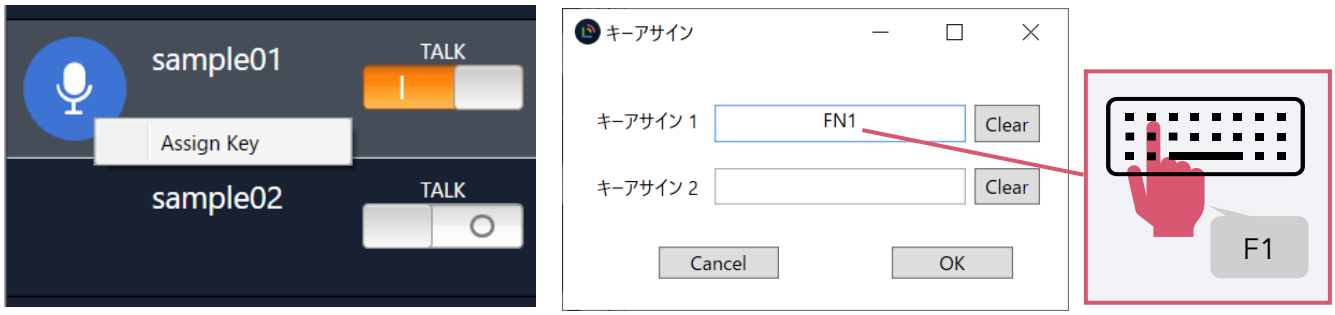
5.2　画面をクリックして発話する方法

通話ボタンにカーソルを当ててクリックすると、対象のグループに対して発話ができます。
トグルモードの場合は、最大で 8 つのグループに同時に発話することが可能です。



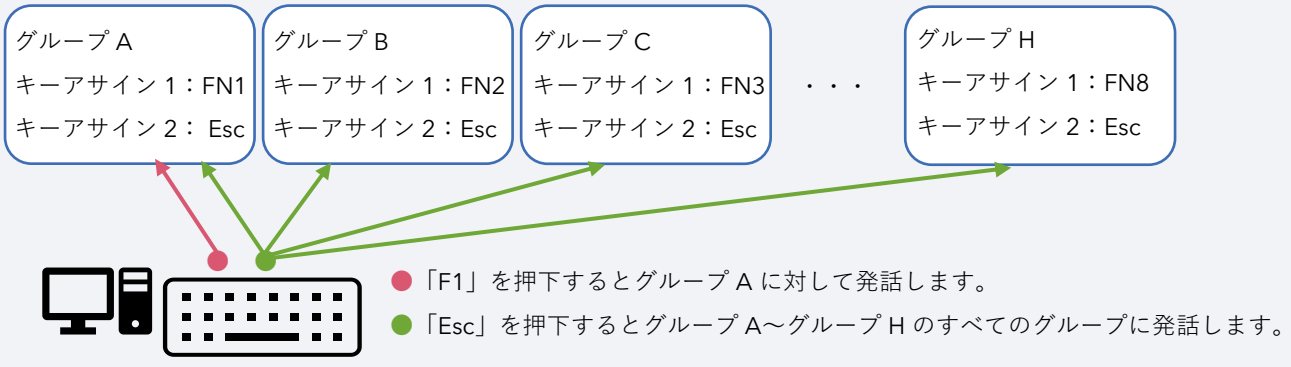
5.3　キーボードのボタンにグループを割り当てて発話する方法(キーアサイン)

通話ボタンにカーソルを当てて右クリックすると「Assign Key」と表示されます。
キーアサイン画面にて「キーアサイン 1」または「キーアサイン 2」を選択し、割り当てたいボタンを押すとキーの名称が表示されるので、「OK」を押して保存します。
Buddycom がフォアグランドの状態で、割り当てたボタンを押している間対象のグループに対して発話ができます。
※1 つのキーにキーアサインできるのは 8 つのグループまでです。
※一度に 1 つのキーでしか発話することができません。2 つ以上のキーを押した場合、2 つ目以降のキーでの発話は開始されません。



キーボードのボタンによる発話の活用例

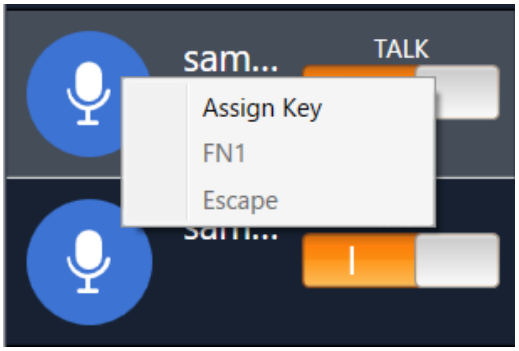
8 個のグループで運用し、それぞれのグループの「キーアサイン 1」に F1～F8 を割り当て、すべてのグループの「キーアサイン 2」に Esc キーを割り当てます。
通常時は、F1～F8 のキーを押して発話したい対象のグループに対して発話をし、緊急時や全体に対して発話したい際には、Esc キーを押せば 8 個すべてのグループに対して発話ができます。



※「F1」と「F3」を同時に押した場合、グループ A のみに発話され、グループ C には発話されません。

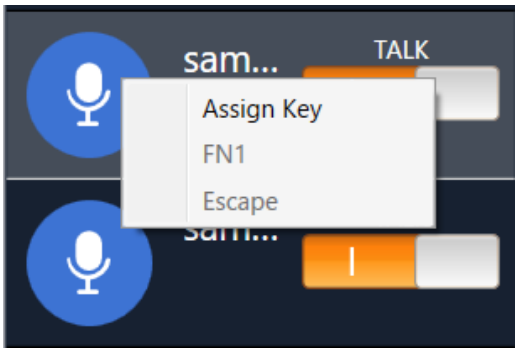
5.3.1.キーアサインしたボタンの確認方法

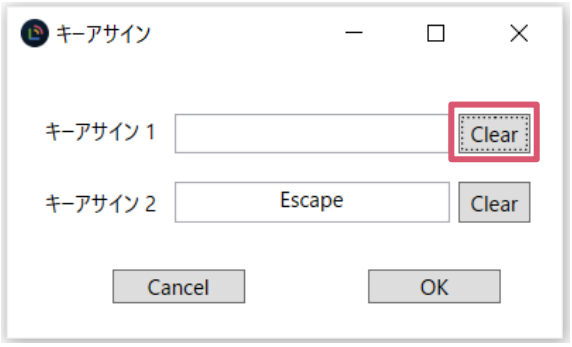
割り当て済みのボタンを確認したいグループの通話ボタンにカーソルを当てて右クリックすると確認ができます。



5.3.2.キーアサインしたボタンの解除方法

割り当て済みのボタンを解除したいグループの通話ボタンにカーソルを当てて右クリックし、「Assign Key」を選択しキーアサイン画面にて「Clear」をクリックし「OK」をすれば解除できます。





※キーアサインは個別通話には対応していません。

※キーアサインに表示されるボタンの名称は日本語キーボードの名称です。

キーアサインに MIDI ノートナンバーを登録すれば、MIDI キーボードなどの
MIDI コントローラーからも発話できます。
詳しくは「付録 MIDI コントローラーのボタンをキーアサインする方法」をご参照ください。

5.3.3.キーアサインしたボタンのトグル操作について

複数のグループを 1 つのキーにアサインしている場合、アサインしたグループのいずれかが発話している状態でキーを押下すると、アサインしているすべてのグループの発話が終了します。その後再度キーを押下することですべてのグループに一斉発話が可能となります。

例）

Escape キーに sample1～8 の 8 グループをキーアサインします。

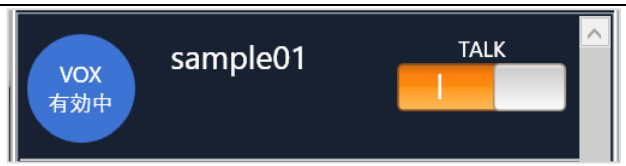
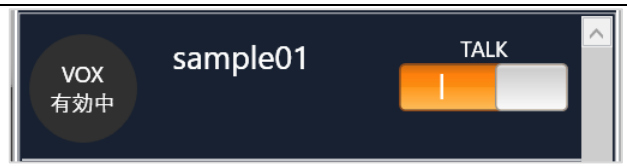
Sample4 のみが発話状態の時に Escape キーを押下すると、Sample4 の発話が終了されます。再度 Escape キーを押下することで sample1～8 全グループに発話開始ができます。



1 グループ発話中　　発話終了　　全グループ発話中

5.4　音声検知によって自動で発話する方法（VOX 機能）

VOX（Voice Over eXchange)機能を使用すると、設定した音量を超える大きさの音声が入力されたときに、自動で発話することができます。VOX を有効にすると、トークボタンのマイクマークが「VOX 有効中」に変化します。また発話中は、トークボタンの色が灰色に変化します。

未発話	発話中
	

5.4.1.VOX の動作設定

VOX の有効化と設定変更は、設定画面のトークタブから実施できます。



設定項目	説明
VOX を有効にする	VOX 機能の有効/無効化を切り替えます。
音量感度	発話を開始するしきい値となる音量を設定します。Max に近いほど、小さな音に反応しなくなります。
切断する時間	入力音声の音量がしきい値を下回ってから発話を終了するまでの時間を設定します。0.5 秒,1 秒,1.5 秒,2 秒の 4 段階から選択できます。（初期値：1 秒）

5.4.2.VOX 機能の制限事項

・VOX 機能はグループ通話でのみご利用いただけます。個別通話ではご利用になれません。

・最大同時発話グループ数が 8 グループのため、TALK スイッチがオンのグループが 9 つ以上ある場合は、VOX を有効にできません。8 つ以下にした状態で有効にしてください。

・VOX が有効の時は、トークボタンのクリック、キーアサイン(キーボード/MIDI のいずれも)による発話はご利用になれません。

・ヘッドセットや PC のノイズ抑制機能の強さによっては反応しにくくなることがあります。

6. グループウインドウについて

グループウインドウとは、メンバーリスト、チャット、ライブ、マップを表示するウインドウです。
以下の手順で、グループウインドウの表示ができます。

（1）TALK スイッチをオンにした通話グループのグループ名をダブルクリックします。



（2）画面右側にグループウインドウが表示されます。

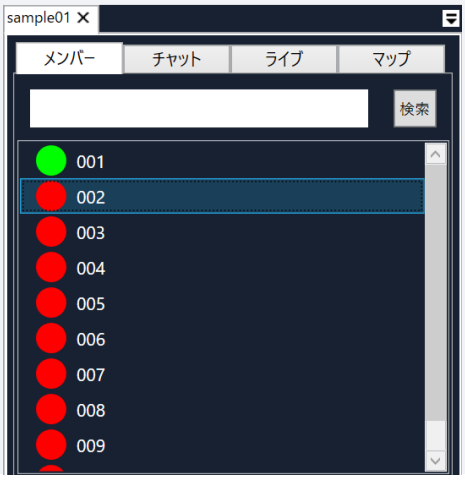


グループウインドウについて

ウインドウの対象のグループがウインドウの左上に表示されます。

グループウインドウには 4 つのタブがあります。

・メンバー：グループのメンバーリストを表示します。
　検索ボックスにメンバー名の一部を入力して、検索できます。
・チャット：履歴の表示と、テキスト/画像の送信ができます。
・ライブ：ライブキャスト機能ができます。
・マップ：地図を表示してグループ内の他のユーザーの
　　位置情報を表示できます。



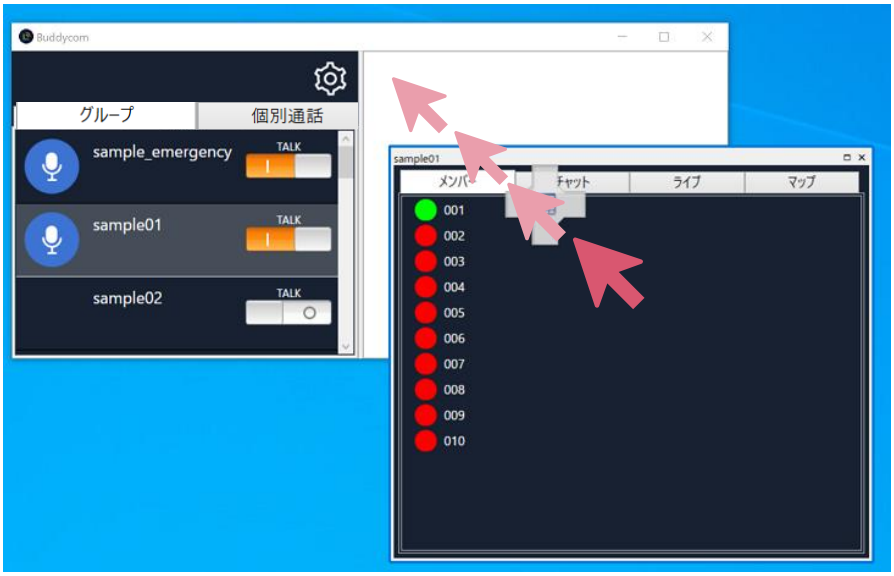
グループウインドウの表示について

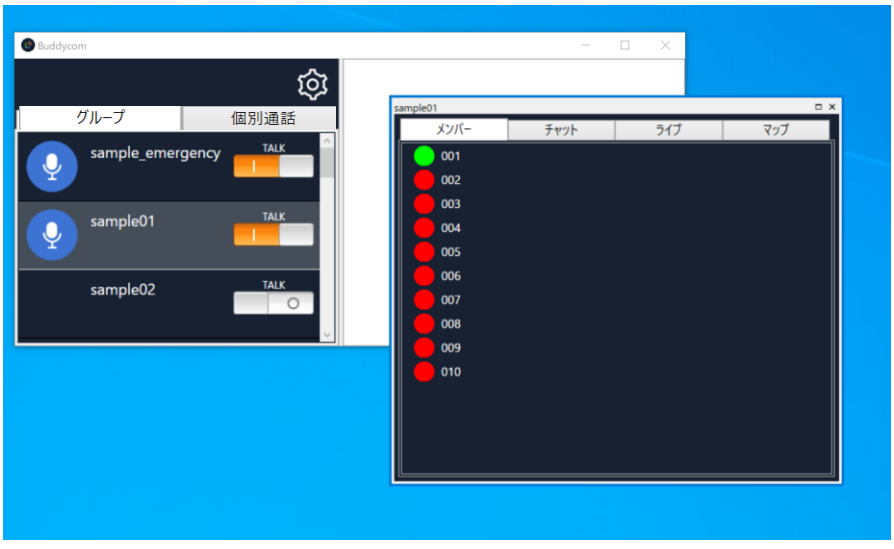
グループウインドウを取り出して表示することができます。



グループ名にカーソルを合わせ、右クリックし、そのままドラッグして Buddycom の右側の画面外に移動させドロップします。

グループウインドウを取り出すことで、ウインドウを大きく表示することや、PC 画面上の見やすい位置に移動させることができます。



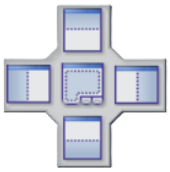


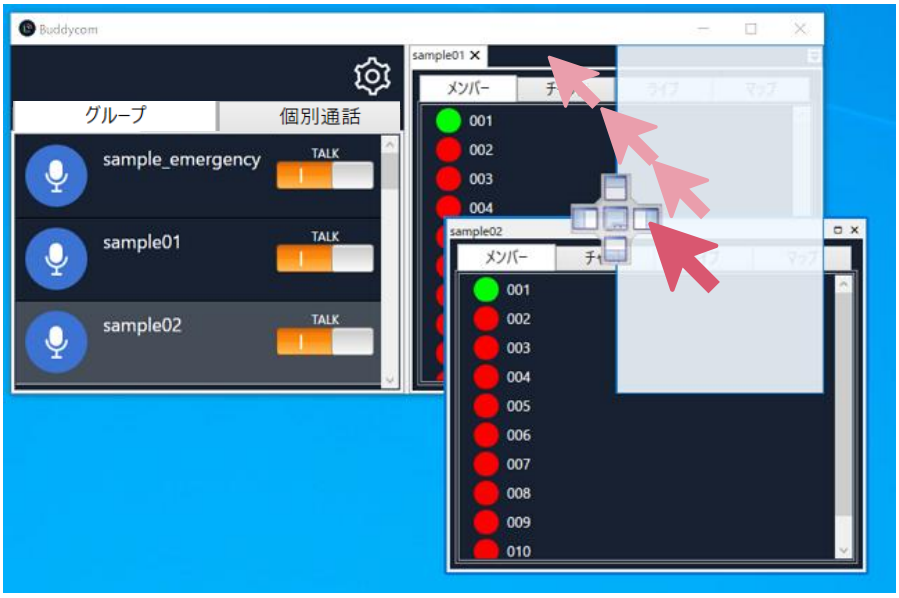
複数のグループウインドウを表示する



グループ名にカーソルを合わせ、右クリックし、そのままドラッグして移動させます。

Buddycom の画面右側にドラッグすると、十字のドッキングガイドが表示されます。





ドッキングガイドにカーソルを合わせてドロップすると、複数のグループウインドウを縦横に並べて表示することができます。





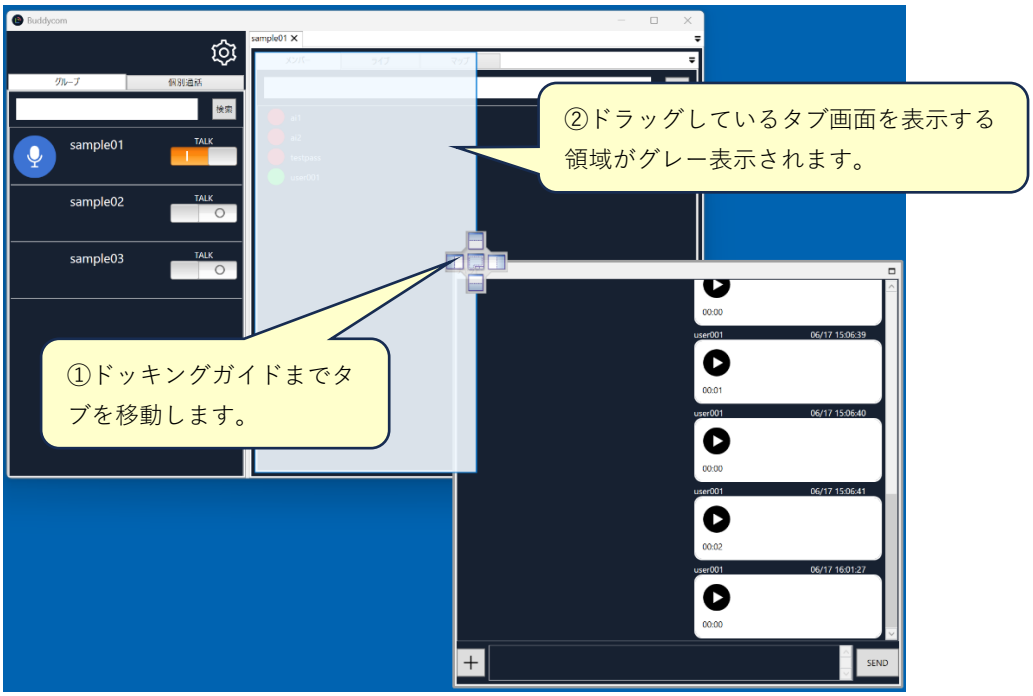
グループウインドウの分割表示

既定の設定では、グループのウインドウ内で、タブを切り替えて、メンバー、チャット、ライブ、マップの画面を表示します。チャットをしながらライブキャストを表示するなど、同時に複数のタブ画面を確認したい場合は、以下の手順でグループウインドウを分割して表示してください。

(1) 同時に表示したい画面のタブの見出しをクリックしたまま少し移動して、ドッキングガイドを表示させます。（下記の例では、チャットタブをクリックしたまま移動）



(2) ドッキングガイドの上下左右のいずれかの位置までタブをドラッグしてドロップします。（下記の例では、ドッキングガイドの左側まで移動）



(3)　ドッキングガイド上のタブをドロップした位置に、タブが表示されます

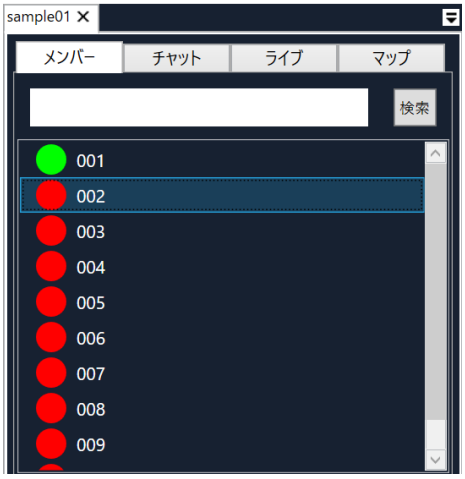


グループウインドウの分割表示のリセットについて

分割したグループウインドウを元の表示に戻したい場合は、グループのタブを閉じてから、画面左側のグループをダブルクリックして再表示してください。

7. メンバーリストについて

グループのメンバーリストを表示します。



メンバーリストの検索について

メンバータブのすぐ下の検索ボックスにユーザー表示名の一部を入力して、任意のユーザーだけを表示することができます。



メンバーリストのステータスについて



グループの音声を受信している状態

グループに「話す」または「聞く」設定をしており、Buddycom アプリを起動(オンライン)しています。



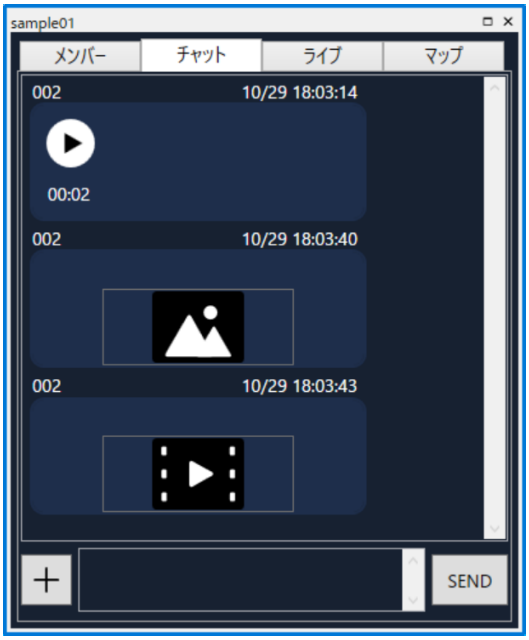
グループの音声を受信していない状態

グループに「話す」または「聞く」設定をしていないか、Buddycom アプリを起動(オンライン)していません。

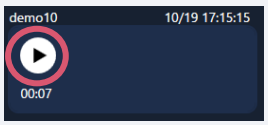
8. チャットについて

8.1　履歴の再生方法

チャットウインドウから履歴の再生ができます。

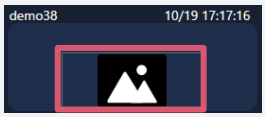


再生/表示ボタン



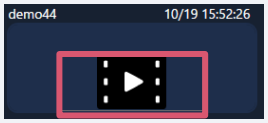
音声履歴

再生ボタンを押すと音声履歴が再生されます。



画像履歴

画像アイコンを押すと画像履歴が表示されます。



動画履歴

動画アイコンを押すと動画履歴が再生されます。

再生イメージ



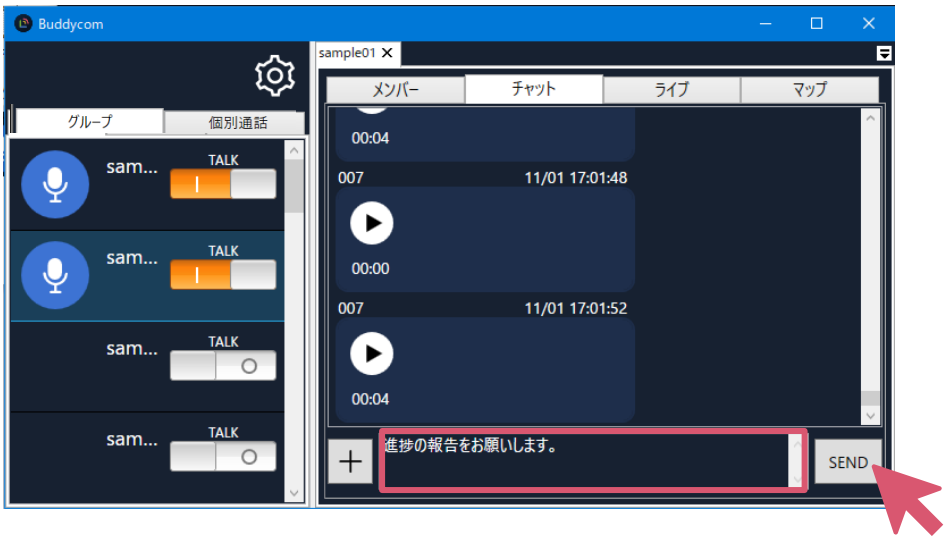




8.2　CHAT の送信

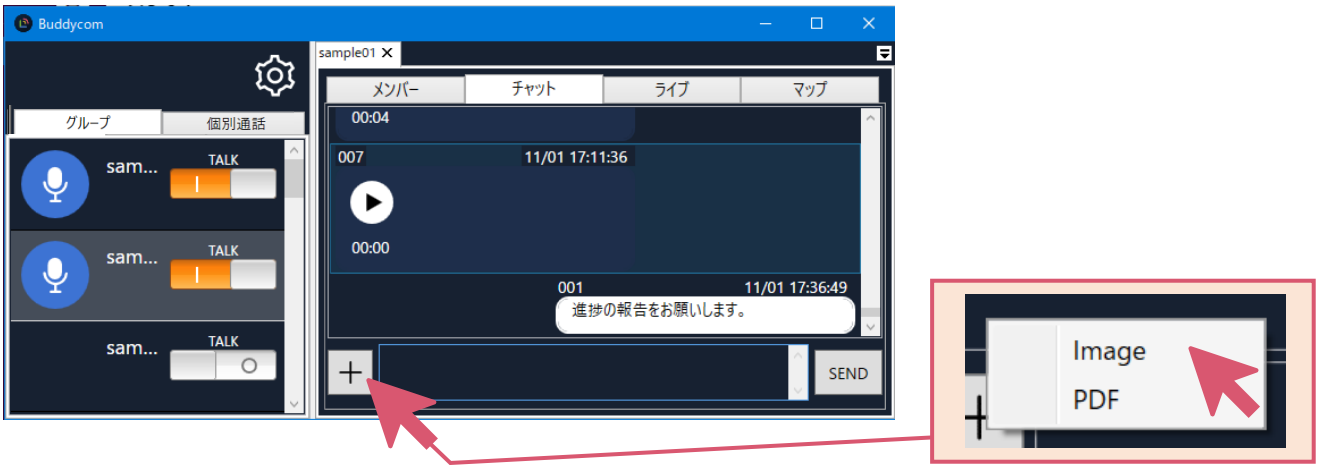
8.2.1.テキストの送信について

チャットウインドウの　画面下部のテキストボックスにテキストを入力し、「SEND」ボタンをクリックするとテキストが送信されます。

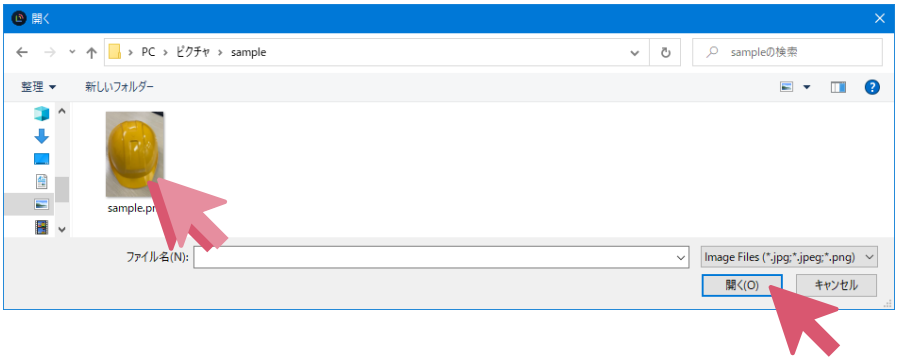


8.2.2.画像・PDF の送信について

（1）チャットウインドウの左下の「＋」ボタンをクリック、「image」または「PDF」をクリックします。



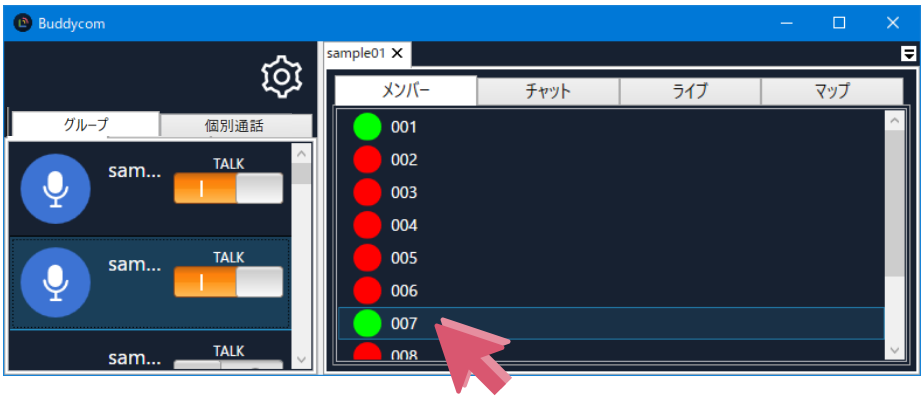
（2）フォルダから送信する画像または PDF ファイルを選択し、「開く」をクリックするか、ファイルをダブルクリックすることで送信できます。



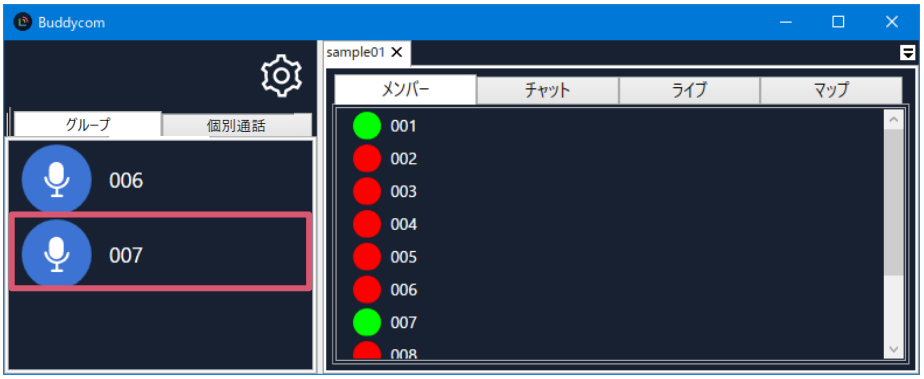
9. 個別通話

以下の手順で個別通話ができます。

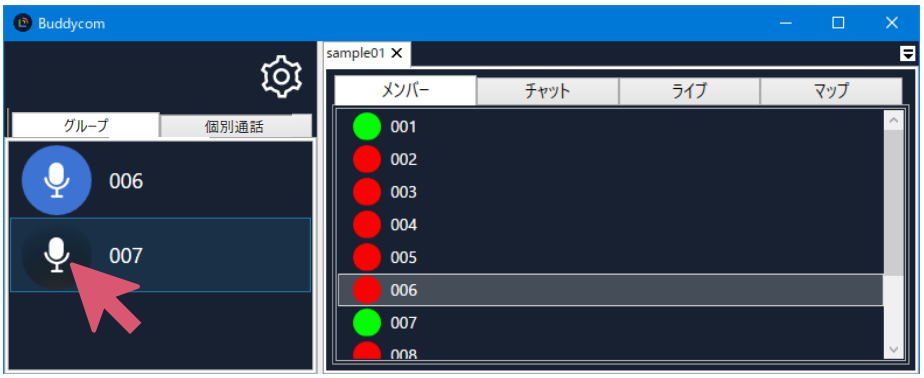
（1）メンバーリストから通話したいユーザーをダブルクリックします。



（2）画面左の個別通話タブに、選択したユーザーが表示されます。



（3）表示されたユーザーの通話ボタンを押下し、対象のユーザーに対して発話することができます。



※個別通話のユーザー一覧には 20 ユーザーまで表示することができます。選択したユーザー順に並んでおり、21 番目のユーザーを選択すると 1 番古い選択履歴のユーザーが個別通話一覧から消えます。
※個別通話のユーザー一覧はアプリを再起動すると消えます。
※個別通話で同時に 2 ユーザー以上に対して、発話することはできません。

10. マップ

以下の手順で、グループ内の他のユーザーの位置情報を表示できます。

(1) グループウインドウのマップウインドウを表示します。

グループ内の他のユーザーの位置情報が Google マップに表示されます。



マップ画面について



地図 航空写真

マップのタイプを変更できます。

マップの拡大/縮小ができます。

Buddycom Map version 1

Windows 版 Buddycom にて利用するマップのバージョンです。

グループ通話を受信しているユーザーです。

グループ通話を受信していないユーザーです。

キーボードでの操作は、こちらのキーボードショートカットをご参照ください。

※一度マップに表示されたユーザーは、グループから全ユーザーが移動して 5 分が経過するか、全ユーザーが Buddycom アプリを終了して 5 分経過するとマップ上のユーザーの表示が削除されます。

※MAP 画面は 10 秒ごとに更新されます。

※MAP 画面には最大 500 ユーザー表示することができます。 500 ユーザー以上のグループで利用する場合は、MAP の表示範囲を狭めてご利用ください。

11. マップ通話

「位置情報」「マップ通話」オプションを設定したグループで、以下の手順でマップに位置情報を表示されたユーザーに対して通話することができます。

(1) グループウインドウのマップウインドウを表示します。

(2) マップ上の黒枠の範囲内に表示されたユーザーに対して、 マップウインドウのトークボタンを押すことで、通話ができます。



ユーザーのステータスについて

ユーザーピン	説明
	グループ通話を受信しているユーザーです。 個別通話を受信することができます。
	グループ通話を受信していないユーザーです。 マップ通話は個別通話として発信するため、グループ通話を受信していないユーザーもアプリを起動していれば受信することができます。

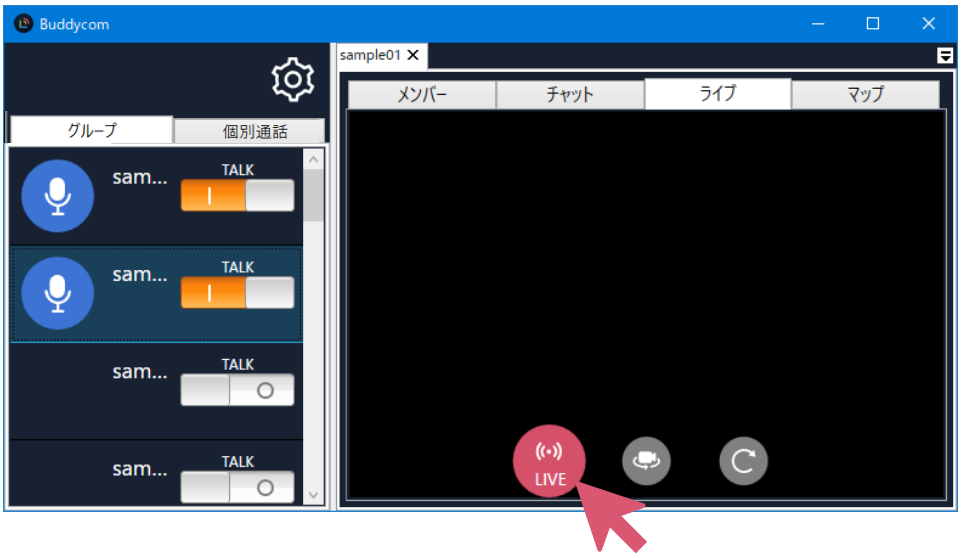
マップ通話は個別通話として発信するため、通話履歴は個別通話に保存されます。

Windows 版 Buddycom から位置情報の送信はできません。

12. ライブキャスト

以下の手順でライブキャストを送信できます。

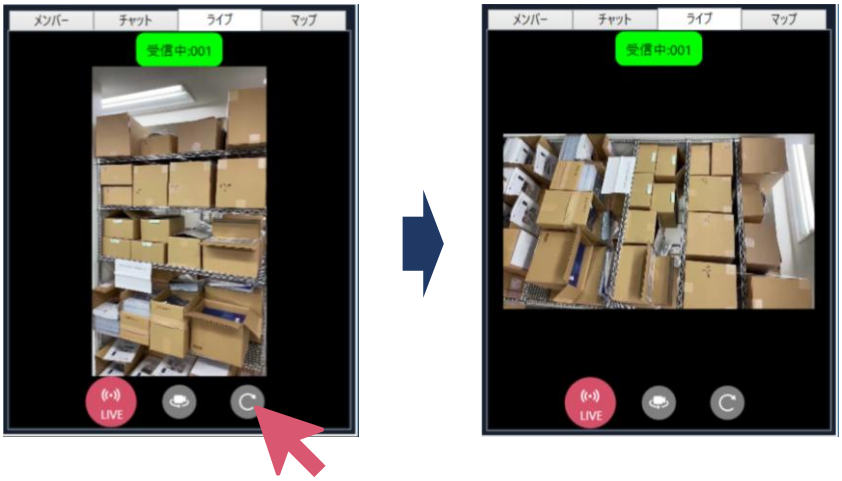
（1）グループウインドウのライブウインドウを表示します。



（2）「LIVE」ボタンをクリックすると動画の送信が開始されます。



動画受信中にライブタブの回転「C」ボタンをクリックすると、動画が時計回りに 90 度回転します。



外部カメラとの連携について

・USB Web カメラに対応しています。(対応規格：UVC 1280×720　30fps)

制限事項

・Windows 版 Buddycom アプリ起動後に USB Web カメラを抜き差しした際には、アプリを再起動してください。

・Windows 版 Buddycom アプリにてライブキャストを使用すると、CPU パワーを比較的多く使用します。

・Windows タブレットの回転縦画面には対応していません。

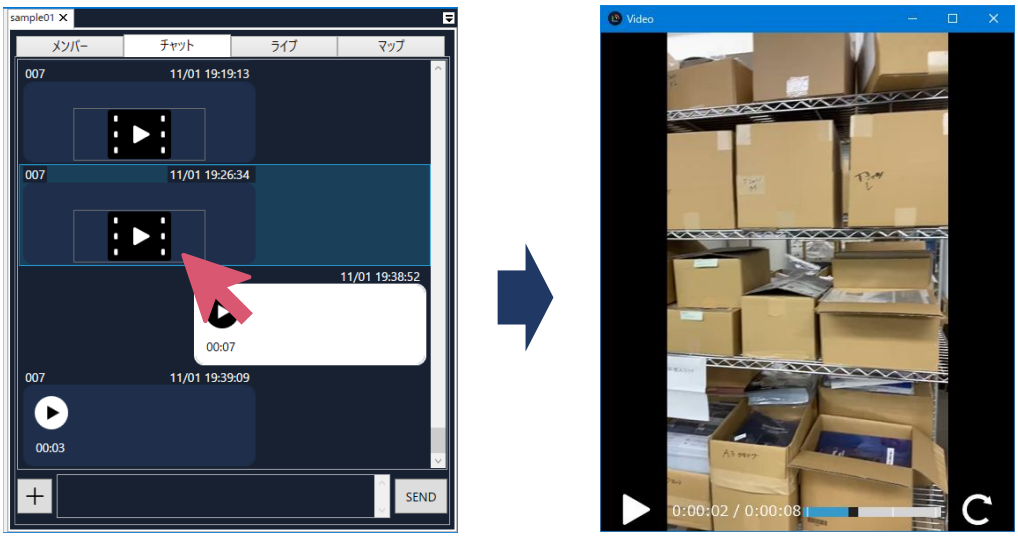
・PC 搭載のカメラにて撮影を行った際に、カメラのプレビューは自動では左右が反転しません。

カメラのプレビューについて

タブレットやラップトップ PC のインカメラでの撮影は、弊社が把握している機器の場合は、Zoom や Teams の Web 会議システムのように反転してプレビューされます。弊社が把握していないタブレットやラップトップ PC をお使いで、反転してプレビューされたい場合には、弊社担当者へお問い合わせください。

USB にて接続されたカメラは自分を撮影しても、反転してプレビューされません。これは、外部カメラは自分側を向いているか、外側を向いているかの判定ができないためです。

チャットウインドウの動画履歴をクリックすると「Video」ウインドウが表示され、履歴が再生されます。



13. インターフェイスの説明

メイン画面



設定

設定画面が表示されます。

グループタブ

グループ通話できます。

個別通話タブ

個別通話ができます。

設定画面

アカウントタブ



表示名

ユーザー表示名を変更できます。

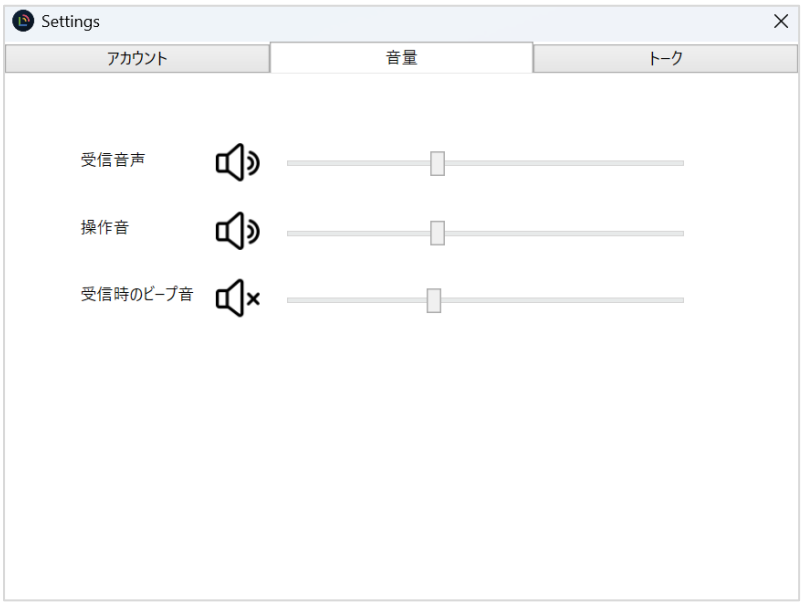
ログアウト

ログアウトができます。

Application Version

Windows 版 Buddycom のバージョン確認ができます。

音量タブ



受信音声

受信音声の音量を変更できます。

操作音

自端末の発話開始時に鳴る音の音量を変更できます。

受信時のビープ音

音声受信開始時に鳴る音の音量を変更できます。

14. 制限事項

（1）社内ネットワーク環境について

社内ネットワーク環境で、Buddycom をご利用になる場合は以下の内容をネットワーク管理者にご確認ください。

Firewall の設定

下記のホスト/ポートに対するアクセスを許可してください。

＜ホスト名＞

*.science-arts.com
*.amazonaws.com

＜ポート＞

443

（2）プロキシ対応について

認証が必要なプロキシサーバーはサポートしていません。

スクリプト(wpad.dat)で設定されるプロキシサーバーはサポートしていません。

（3）エンドツーエンド暗号化について

Windows 版 Buddycom はエンドツーエンド暗号化に対応しておりません。

エンドツーエンド暗号化を「利用中」に設定しているテナントでは、Windows 版 Buddycom にログイン後、グループタブにグループ情報が表示されません。

15. その他

15.1 スマホ版アプリとの機能差分

スマホ版アプリと Windows 版アプリの機能差分です。

機能		スマホ版	Windows 版
基本機能	グループ通話(単方向)	○	○
	グループ通話(双方向)	○	○
	個別通話	○	○
	マルチグループ受信	○	○
	電話発信	○	×
	通話履歴の再生	○	○
	履歴保存 24 時間	○	○
	チャット機能	○	○
	定型文	○	×
	位置情報の確認	○	△（*1）
	Map 通話	○	△（*2）
	企業間通信	○	○
	強制起動	○	×
	2 段階認証	○	○
	かんたんログイン	○	×
Enterprise プラン	音声テキスト化	○	△（*3）
	トランシーバー翻訳	○	△（*3）
	エンドツーエンド暗号化	○	×
	SAML 認証	○	×
	履歴保存 1 か月延長	○	○
	外部ストレージ連携	○	○
	アプリ連携	○	○
Livecast プラン	ライブキャスト	○	○

*1 スマホ版アプリユーザーの位置情報だけ参照できます。

*2 MAP 上に表示されるスマホ版アプリユーザーに対してだけ MAP 通話ができます。

*3 PC の設定言語に関係なく、発話者の言語は日本語になります。

日本語はテキスト化されますが、その他の言語はテキスト化できません。また、他のユーザーが発話した内容は、日本語に翻訳されます。

15.2 バージョン確認

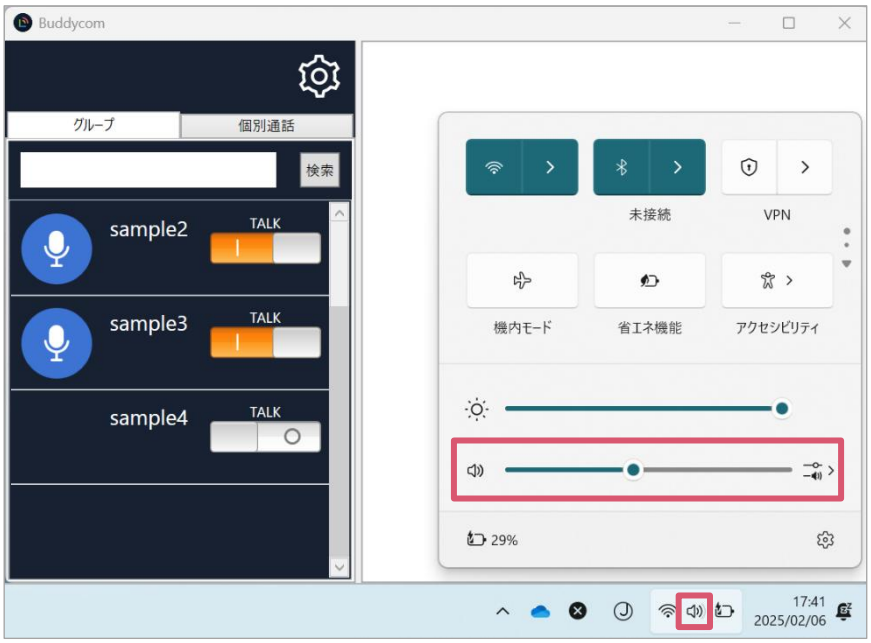
Windows 版 Buddycom の設定画面のアカウントタブにてバージョンを確認できます。



15.3 スピーカーから音が聞こえない場合

出力先のスピーカーを確認します。

タスクトレイの音量アイコン「」をクリックし、表示された出力先のデバイスに、使用するスピーカーが表示されていることを確認します。

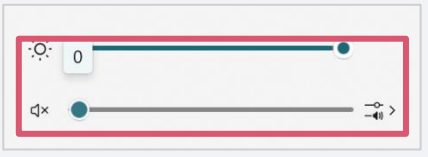


音量の設定にご注意ください。

設定画面



ミュート



音量が小さい



15.4 マイクに音が入らない場合

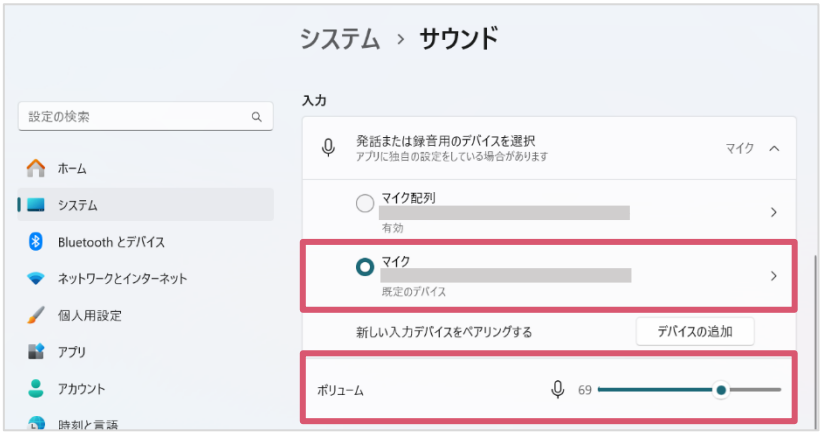
利用するマイクの確認をします。

Windows のスタートメニューから、設定＞システム＞サウンドの順にクリックし「サウンド」画面を表示します。

(1) Buddycom を終了します。

(2)入力デバイスに使用するマイクが設定されていることをご確認ください。

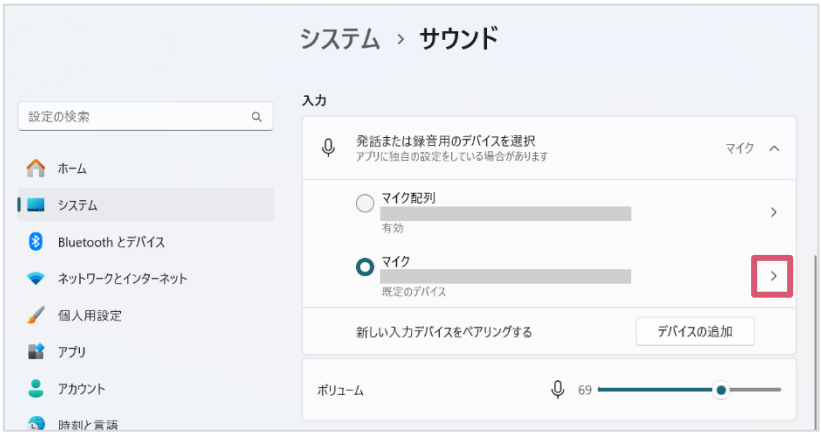
(3)マイクに向かって発話をし、ボリュームのインジケーターが振れることをご確認ください。



マイクの既定の形式を確認します。

(1)Windows のスタートメニューから、設定＞システム＞サウンドの順にクリックし「サウンド」画面を表示します。

(2)入力デバイスに表示されている、使用するマイクの右の三角ボタンを押下します。



(3) プロパティ画面の入力設定＞形式、を確認します。Windows 版 Buddycom で対応しているオーディオのフォーマットは、1 チャネル or 2 チャネル / 16 ビット / 16000Hz or 48000Hz になっています。これ以外の場合は、マイク入力ができません。



マイクの権限を確認します。
Windows の設定＞プライバシーとセキュリティをクリックします。「アプリのアクセス許可」から「マイク」を選択します。



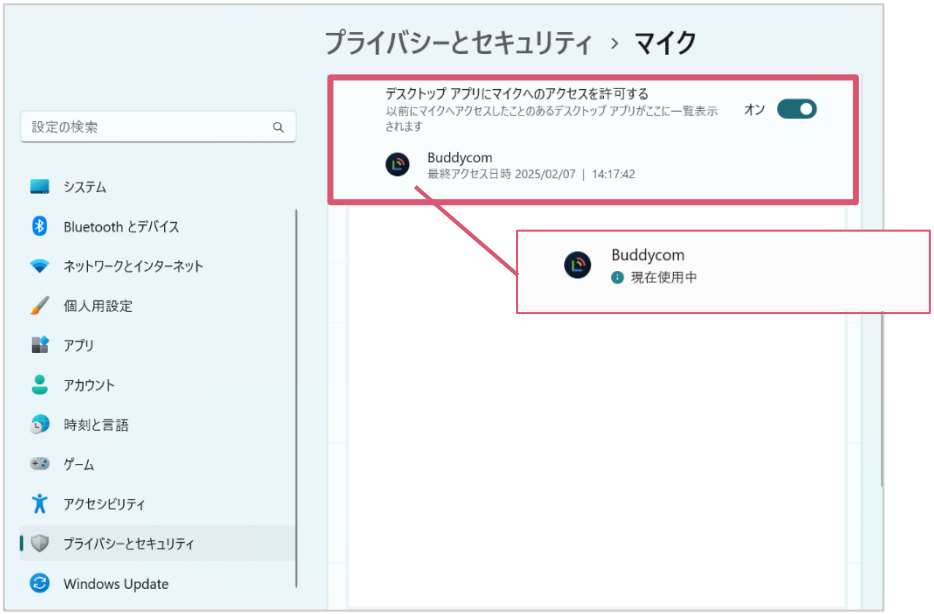
(1)「マイクへのアクセス」、「アプリにマイクへのアクセスを許可する」がオンになっていることを確認します。



(2) 画面を下にスクロールし、「デスクトップアプリにマイクへのアクセスを許可する」がオンになっていることを確認します。また、「デスクトップアプリにマイクへのアクセスを許可する」の一覧に Buddycom が表示されていることを確認します。

(3) Buddycom を起動します。

(4) Buddycom にて発話をします。発話中は以下のように Buddycom の表示が「現在使用中」に変化することをご確認ください。



15.5 カメラの確認

利用するカメラの確認をします。

Windows のスタートメニューから、設定＞プライバシーとセキュリティをクリックします。「アプリのアクセス許可」から「カメラ」をクリックします。



(1)「カメラへのアクセス」、「アプリにカメラへのアクセスを許可する」がオンになっていることを確認します。



(2) 画面を下にスクロールし、「デスクトップアプリがカメラに」がオンになっていることを確認します。また、「デスクトップアプリにマイクへのアクセスを許可する」の一覧に Buddycom が表示されていることを確認します。
(3) Buddycom を起動します。
(4) Buddycom にてライブキャストの送信をします。送信中（カメラの利用中）は、以下のように Buddycom の表示が「現在使用中」に変化することをご確認ください。



15.6　Microsoft Defender SmartScreen が表示された場合

Windows 版 Buddycom のインストーラーのダウンロード時に、次の画面が表示された場合は、以下の手順でダウンロードを実行します。

（1）「詳細情報」をクリックします。

（2）「実行」をクリックすると、ダウンロードが実行されます。



16. 付録

16.1 MIDI コントローラーのボタンをキーアサインする方法

MIDI キーボードや MIDI パッドなど、MIDI ノートナンバーを送信できる MIDI コントローラーを使うことで、MIDI コントローラーのボタンを押して発話できるようになります。

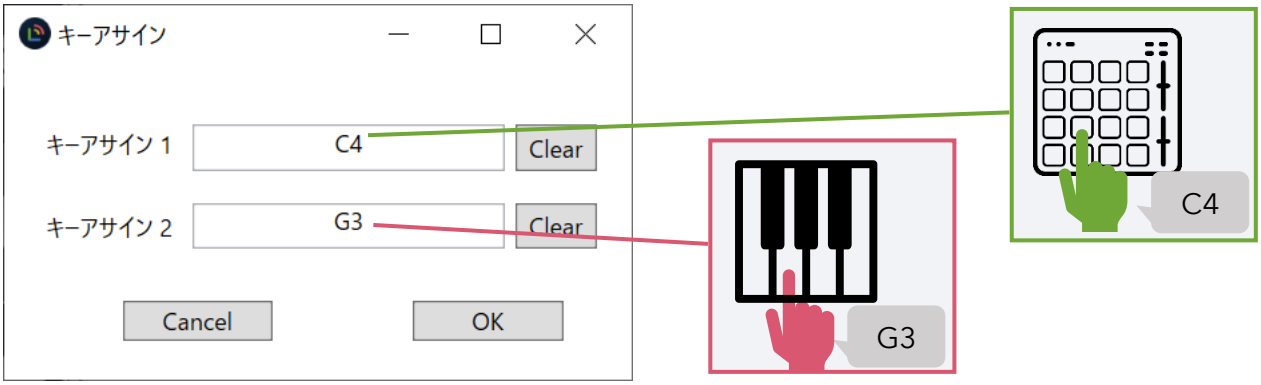
（1）MIDI コントローラーを PC に接続します。

*コントローラーによっては事前にドライバーのインストールが必要です。ご使用のコントローラーの取扱説明書をご確認ください。

（2）Buddycom を起動し、ボタンを割り当てたいグループのキーアサイン画面を開きます。

キーアサイン画面については、「キーボードのボタンにグループを割り当てて発話する方法」をご確認ください。

（3）キーアサイン画面にて「キーアサイン 1」または「キーアサイン 2」を選択し、割り当てたいボタンを押すと MIDI ノートナンバーが表示されるので、「OK」を押して保存します。



（4）Buddycom がフォアグランド状態でもバックグラウンド状態でも、割り当てたボタン（MIDI ノートナンバー）を押している間対象のグループに対して発話ができます。

*ボタンを押した際に送信される MIDI ノートナンバーは、コントローラーの機種やその設定によって異なります。必ずご使用のコントローラーの取扱説明書をご確認ください。